

人口●142,052人
 男70,023人 女72,029人
 世帯数●60,433世帯
 面積●11.51km²
 (H17年11月1日現在)

浦和区役所(代表) ☎ 825-1111
 編集●浦和区常盤6丁目4番4号
 浦和区コミュニティ課
 ☎ 829-6037 ☎ 829-6232

浦和



子どもの安全を考える集い

～マップで養う危険回避能力～

子どもの安全
一緒に
考えませんか



小宮助教

浦和区では、市民の皆さんと行政(市、警察)との協働により、事故のない平和なまちをめざして「夢の翼セーフティプロジェクト」を推進しています。

プロジェクトの一環として、交通安全保護者の会(母の会)を中心に、子どもが危険だと思われる箇所を地図におとした「ヒヤリ・ハットマップ」は、事故防止啓発に役立っています。今回、地域安全マップづくりの専門家を迎え「マップで養う危険回避能力」と題し、事故防止についての講演を行います。

日時 12月13日(火) 10時～12時(9時30分開場)
場所 さいたま市文化センター大ホール
 JR南浦和駅西口下車徒歩7分 (南区根岸)
講師 小宮信夫氏(立正大学文学部社会学科助教授)
費用 無料
参加方法 当日直接文化センターへお越しください
問合せ 区生活課 ☎829-6049

※当日、小・中学生交通安全ポスターコンクールの表彰式も行います。

交通指導員を募集します

～交通指導員をご存知ですか～

朝の通学路で交通指導員が、登校する学童を安全に誘導しているのをご覧になったことがありますか?

区では、学童の登校時の安全を守るために交通指導員(市の非常勤特別職)を各市立小学校に配置しています。

交通ルールやマナーの指導に情熱をお持ちのボランティア精神溢れる方で、交通指導員に興味があり、実際にやってみようと思われる方、ぜひ区生活課までお問い合わせください。



- **応募資格** さいたま市内に在住する年齢25歳以上62歳までで、心身ともに健全で、担当しようとする小学校長の推せんを得られる方
- **募集人員** 浦和区内の市立小学校、1校あたり1～3人程度(特に仲町小学校を希望される方を募集します。)
- **主な職務**
 - ①学童の登校時(午前8時前後)の安全誘導
 - ・1か月を通しておおむね15回以上の勤務を原則といたします。
 - ②交通安全教育活動
 - ・市の交通安全教育指導員の補助者として学校や地域で交通安全教育を行います。
- **報酬** 市の条例の定めるところにより毎月報酬が支給されます。
- **被服等** 市の規定に基づき制服が貸与されます。
- **問合せ** 区生活課 ☎829-6049

※区内、各小中学校の「交通安全保護者の会(母の会)」というボランティア組織の方々にも交通安全にご協力いただいております。

うらわの風物詩

じゅうにんち 十二日まちと街を彩るイルミネーション

毎年12月12日は、調神社境内や中山道に、縁起物の熊手をはじめ正月用品などの露店が並び、「十二日まち」が賑やかに行われます。調神社はその名から「ツキを呼ぶ神社」として大変ご利益があるといわれています。新年に向けてツキを授かりに家族で出かけてみませんか。

また、クリスマスを迎えるこの時期、区内のあちらこちらでイルミネーションが点灯しています。光り輝く街をお楽しみください。



さいたま市政功労賞表彰が行われました

11月9日(水)、さいたま市表彰式において、市の公益の増進に寄与し、又は永年にわたり市政振興発展にご尽力いただき、その功績が顕著な方に「市政功労賞」が贈呈されました。浦和区内の受賞者は次の方々です。

●地方自治功労●

青羽 健仁 添野ふみ子
長島 佑享 藤井 正子
松崎 良一

●コミュニティ功労●

小原 茂 楠谷 忠洋
小宮 清史 富沢 賢治
林 きみ枝

(順不同、敬称略)

問合せ/秘書課 ☎829・1013

われら浦和びと

～大野勢太郎さん～



元文化放送アナウンサー。現在はフリーでFM NACK5の「WARMING-UP MUSIC」(平日6:00～9:00)をはじめ、ラジオやテレビに数多く出演するなど幅広く活躍中。浦和レッズのサポーターとしても知られ、著書『浦和REDSの真実』は2002年から毎年出版している。地域活動やまちづくりなどにも深い関心を持ち、積極的に活動している。

Q アナウンサーになったきっかけは？

A 子どもの頃、人前で発表することがとても苦手で、大人になって何をやるにも自分を表現できないとまずいだろうと、高校では落語研究会に、大学では放送研究会に入りました。アナウンサーになる気はなかった。ただ、先輩たちがほとんど放送局のアナウンサーになっていて、ごく自然の流れの中で文化放送のアナウンサーになったわけです。

Q フリーのアナウンサーになりましたよね。不安はありませんでしたか？

A 管理職になって徐々にしゃべる現場から遠のいてしまうのは、惜しいと思ったんですよ。器用で上手な人は、すぐに物事が出来ちゃうから執着心が無い。下手な方が長続きしますね。僕は下手だから、やり続けたいうまくならない。それでフリーになりました。不安はありませんでした。僕は運が強い。例えばね、子どもの頃から相撲が大好きなんです。いきなり昭和48年から相撲中継を文化放送がはじめて、もう水を得た魚とかですよ。フリーになって、この街に越してきたらレッズができた。運がいいんですよ。実はサッカーのことは、ルール以外何も知らなかった。中継が始まると「行けー！」とか「ヨーシ決めた！」とか、それしか言えない。それなのに、それが評判良くて「レッズの応援放送」とか言われてね。それから勉強しましたよ。今では、レッズも、世界のサッカーもわかるようになりましたね。

Q 浦和区をどう思いますか？望むことは？

A 僕は、浦和で生まれ育ったわけではないのですが、浦和駅に降りた瞬間、ホッとします。本当にいい街、宝石みたいな街だと思いますよ。住んでいる人たちのことを、保守的で、よそ者を拒絶するという人がいるけれど、僕なんかよく声をかけられる。シャイなんです。浦和の気質なんです。お高くとまっていなさい、受け入れてくれる。浦和区に望むことは、まちづくりの将来の図面をね、きちんと書いた上での開発にしてもらいたいと思います。そこら中に林立する高層マンションは、芳しくないと思う。街の景観がどんどん壊れていくのは、昔から住んでいる人には、昔のまち並みの記憶があるだけにね、特につらいと思いますよ。

みんなで築こう “さいたまの伝統と文化”
咲いたまつり2005

10月9日(日)さいたまスーパーアリーナなどで行われた咲いたまつり2005で



は、大原中吹奏楽部の力強い演奏のもと、市立浦和高校バトン部、社交ダンス連盟の方々が華麗なパフォーマンスを披露し、観客から熱い声援を受けていました。



浦和区まちづくり助成制度を

区では、地域の様々な課題を解決し、魅力あるまちづくりを推進するために、自主的に取り組むグループに対し、次のような助成を行っております。お気軽にご相談ください。

ご活用ください

●名称と内容

① コミュニティ活動助成

コミュニティ活動の拡大・自立を促すための助成で、コミュニティ会議(魅力あるまちづくりグループ)としての登録を必要とします。

② スキルアップ助成

活動団体の技術力向上を促すための助成(講師料など)で10万円を限度とします。

●受付期間

6・9・12月末の3期に分けて受け付けており、今月末が今年度の最後の受付となります。

問合せ/区コミュニティ課 ☎829・6037

第5回 浦和区区民会議を開催しました

10月20日(木)市民会館うらわにおいて、第5回浦和区区民会議を開催しました。魅力あるまちづくり助成申請団体との意見交換が行われ、6団体の事業計画が採択されました。その他、各部会からの報告、防犯対策やコミュニティ会議の名称などについて意見交換が行われました。

■次回開催予定

- 開催日 12月17日(土) 14時～
- 場所 市民会館うらわ

会議は傍聴ができます。ぜひ、お出かけください。詳しくは、浦和区のホームページに掲載しています。

http://www.city.saitama.jp/index_urawaku.html

- 問合せ 区コミュニティ課 ☎829・6037